

府内市町村の動き

堺市

- 堺市は、株式会社セブンイレブン・ジャパンと「地域活性化包括連携協定」を締結した。

これは、安心・安全、災害対策や子ども青少年育成など様々な分野において相互連携を強化するもの。

災害時における帰宅困難者に対するトイレ・水道の提供などの支援や、市内小中学生の職場体験の受入れ、店頭看板へのLEDの導入による環境対策など、多岐にわたった連携を推進する。

市ではこの取組を通じて、市民サービスの向上や地域の一層の活性化につなげたい考え。

池田市

- 池田市は、4月から「池田市美しいまち推進条例」を施行した。

これは、市全域での空き缶やたばこの吸殻等のポイ捨てを禁止するもので、併せて、公園などの公共の場所での、落書きの禁止や飼い犬のふんの回収が定められている。

また、実効性を担保するため罰則規定が設けられ、周知期間を経過した9月以降に違反した場合は、2万円以下の過料が科される。

市ではこの取組を通じて、ゴミのないきれいなまちづくりを推進していきたい考え。

箕面市

- 箕面市は、市の公式ブログ「撮れたて箕面ブログ」を開設した。

これは、ポータルサイト「goo」のオフィシャルサイトとして公開されたもので、市内の出来事

やイベント情報、季節の見所スポットなどを紹介していく。

ブログでは、キャラクターの「モミジージュ」がナビゲーターを務めてくれている。

市では、ブログを通じて、リアルタイムでの情報発信をしていく考え。

URL: <http://blog.goo.ne.jp/minohblog>

モミジージュ



門真市

- 門真市教育委員会は、4月から、「かどま土曜自学自習室サタスタ」を開始した。

これは、小中学生の土曜日の自習を支援するもので、地域住民や大学生、塾講師らと連携して、無料で土曜日の午前中に、子どもたちが持参した宿題や、市が導入した学習支援ソフトによる問題集での勉強を見守り、学習指導を行う。

市ではこの取組を通じて、子どもの学習習慣の定着につなげたい考え。

全国の市町村の動き

栃木県大田原市

- 大田原市は、お笑いを活用した健康づくりをはじめ。

これは、笑いが健康に良いとされることに着目し、芸人らを招いて講座やライブを開催するなど、日々の生活に笑いを取り入れることで健康づくりにつなげるもの。

市民のほか、市内の福祉や医療関係者らにも参加を呼びかけ、学んだことを職場などで活かしてもらう。

市ではこの取組を通じて、笑いがあふれる健康なまちづくりを推進したい考え。

山梨県道志村

- 道志村は、「救急医療情報キット」を作成している。

これは、保険証の写しやかかりつけ医などの情報を書いた用紙を入れておくもの。

救急医療情報キットがあることを示す専用のシールを玄関に貼り、冷蔵庫に保管するよう取扱いを統一することで、緊急時に、救急隊員が冷蔵庫を開けて容器を確認するだけで必要な情報を把握することができる。

村内の希望する世帯に配布するほか、村外への販売も行う。

村ではこの取組を通じて、安心して暮らせる環境整備を推進したい考え。

救急医療情報キット



滋賀県高島市

- 高島市は、「たかしまライフスタイル読本」を発刊した。

これは、市内の若者を対象に、市での暮らしについて聞き取り調査をし、その調査結果をもとにPR冊子としてまとめたもの。

5,000部作成し、市内の高校の卒業生約640名に配布したほか、定住相談やPR活動の際に配布する。

市ではこの取組を通じて、若者の定住促進を図りたい考え。

京都府京田辺市

- 京田辺市は、新たに転入する世帯へ玉露をプレゼントする。

これは、市の名産である玉露をPRするもので、玉露の味を知ってもらうことで、消費量の増加を図る。

ペットボトルのお茶を飲み、急須でお茶を淹れる家庭が減っていることから、玉露と一緒に茶器もプレゼントする。

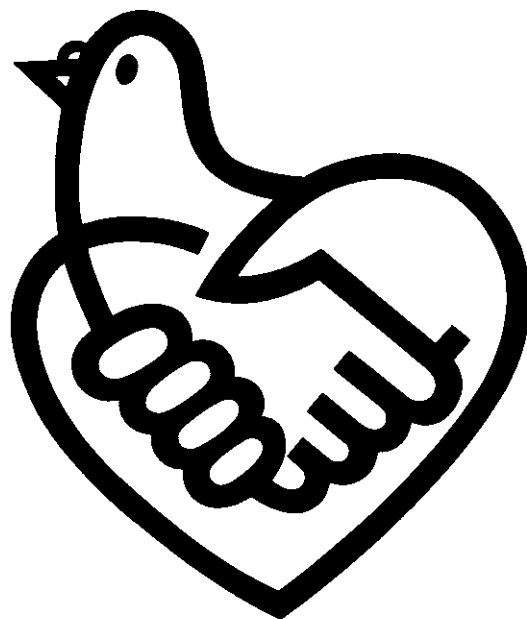
市ではこの取組を通じて、茶業の振興を図りたい考え。

玉露・茶器



なくそう部落差別調査

私たちがみんなの力で



結婚、就職などは人生の重要な転機です。

その、就職に関わる調査で、府内の調査業者が、個人の居住地が同和地区かどうかについて調査していたことが、判明しました。

部落差別は、憲法が保障する基本的人権を侵害する深刻かつ重大な問題です。

条例では、部落差別事象の発生を防止し、基本的人権の擁護を目指しています。

- 結婚、就職等の際の部落差別調査をなくすために、府民一人ひとりの理解と協力が必要です。
- 興信所・探偵社業界は、(社)大阪府調査業協会を中心に自主規制に取り組んでいます。

大阪府部落差別調査等規制等条例